

1 単元名「できることいっぱい」

2 単元について

本単元のねらいは2点ある。1点目は、自分自身について振り返り自分が成長していることに気付きこれからの成長への願いをもつことである。2点目は、周りにいる人々について考え、支えてくれたことに気付き、感謝の気持ちをもつことである。

児童は、2年間の学習を通して、各単元の振り返りにおいて、1年生段階での「学校について詳しくなったよ」「秋のもので楽しく遊べたよ」といった活動の成果から、2年生では「友達にも教えてもらって繰り返し試したから、いいおもちゃができたよ」「すごく楽しかったから、これからもやっていきたい」などと学びのプロセスを含めた気付きへと、「自分自身への気付き」の質を高めてきている。

本単元では、生活全体を通した自分の成長を俯瞰して捉えることで、成長のきっかけとなった出来事や支えてくれた人々の存在に気付き、感謝の気持ちをもつとともに、これまでの成長の喜びをこれからの成長の願いへと繋げていく児童の姿を引き出したい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

自分の成長について情報を集め、まとめていく活動を通して、自分の成長について振り返り、その過程に様々な人とのかかわりや支えがあることに気付き、感謝しながら、これからの自分の生活に自信や意欲をもつことができる。

(2) 単元の評価規準

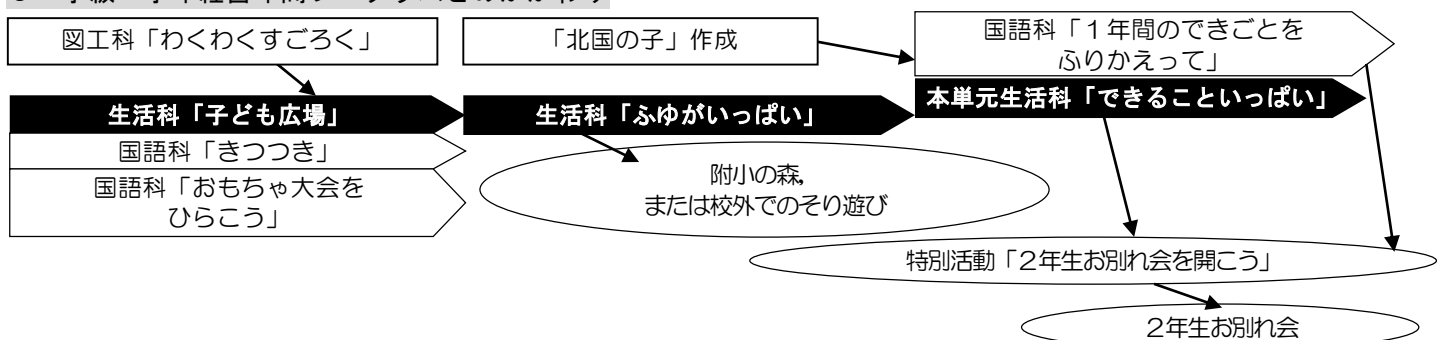
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
ア 自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。	ア 自分なりの表現方法を選び学習に向けて、見通しをもっている。	ア 自分自身の成長に関心をもち、自分の成長を振り返ろうとしている。
イ 成長に繋がった出来事や支えてくれた人々などきっかけとなったことに気付いている。	イ 過去の自分自身や出来事を振り返ることで、現在の自分と比較して考えている。	イ 成長を振り返るために必要な手がかりを見付けたり、集めたりしようとする。
ウ 自分自身の内面的な成長に気付いている。	ウ 自分の生活や成長について振り返り、自分なりの方法で表している。	ウ 自分自身の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもっている。
エ 自分自身のよさがわかり、これからも成長できることに気付いている。		

4 本単元において育みたい資質・能力

本単元は、年間プログラムにおける『1年生や幼児、友達に伝え合う活動を核として、それらと自分とのかかわりに着目し、試行したり工夫したりして考え、表現していく力を育む』パッケージの核となる単元である。児童はこれまで「子ども広場」「ふゆがいっぱい」といった1年生と2年生で繰り返し行う活動を通して、共通の目的をもつ友達と意見を伝え合いながら活動を進め、友達との関わりのよさを実感したり、1年生の反応をもとに自分たちができたことを振り返り、自分たちの役割が変わったことを実感したりしてきた。

一方で、自分に自信がもてず、表現活動の際他の児童に合わせたり、他の児童の様子を気にしたりしてしまう児童もいる。本単元においては、児童同士がお互いの成長や日頃の感謝を伝え合う活動を行うことで自分自身では気付かない成長に気付くとともに、周りの人々があたたかなまなざしで自分を見てくれていること、その中で素直に自分の強みを表現していることに気付き、成長の喜びを感じることで、今後の成長への願いをもつことができるようにしたい。

5 学級・学年経営年間プログラムとのかかわり



6 単元計画 (全13時間)

	○子供の主な学習活動 □教師の主な働きかけ	子供の思考	評価
1	<p>○様々な写真や学校生活の足跡が分かるような資料を見て、2年間の生活や自分の成長を振り返る。 □2年分の生活科の学習や行事の様子がわかる写真・資料を掲示した「2の2ミュージアム」を場として設定し、自分たちの成長に関心をもつことができるようにする。</p>	<p>これまでにいろんな思い出があるね あの時は、楽しかったね あの時、こんなことがあったな 2年間で、できることが増えたよね 1年生の時と今では少し顔が違うね 転校した友達のことを思い出したよ</p> <p>□全体交流の中で、「2の2ミュージアム」から得た気付きについての児童の発言から、2年間での自分たちの変化の多さを視覚化し、成長したことを記録したいという児童の思いを引き出す。</p> <p>せっかくこんなに成長したから、自分たちの思い出を残したいね</p>	学ア
2	<p>○前時で残したいと感じた自分のものがたりをどのような形で残していくかを知り、視点を共有し、単元の見通しをもつ。 □児童が表したい方法を選ぶことができるように、様々な方法でまとめた「○○ものがたり」の見本を提示し、単元のゴールのイメージを明確にする子供の姿を引き出す。</p>	<p>ぼくは、絵巻物にしようかな わたしは、絵本を書きたいな ぼくは、図鑑を書いてみたいな</p> <p>「○○ものがたり」をつくらう</p> <p>できるようになったことを書いたらいいね 一緒に頑張ったこととかお友達のこと書きたいよ 身長とか大きくなったことを書いたらいいんじゃないかな</p> <p>□教師の発問をきっかけとして、どのような準備が必要なのか話し合い、単元の見通しをもつよう促す。</p> <p>メモにまとめてから書いたらいいんじゃないかな もっと自分たちの成長を見つけない 小さいころのものを持ってきてほしいよ</p> <p>「○○ものがたりのたね」をたくさん集めよう</p>	思ア
3	<p>○「ものがたりのたね」を集める活動を通して、成長を見つめる視点を広げる。 □前時に児童から出された視点を基に、「できるようになったよカード」「大きくなったよカード」等を提示することで自分の思いに合わせて視点を明確しながら、「ものがたりのたね」を集めることができるようにする。</p>	<p>1年生のころは教えてもらっていたけど、2年生になって教える側になれたよ 1年生の時、どうやったら水がたまるか考えてみんなで協力したら、ウォータースライダーを作れたよ 1年生の時の写真や作品を見ると、大きくなったし、できることもいっぱい増えたことがわかったよ</p> <p>おしらせハートがパワーアップしたね たくさんはっけんをしてきて、すごく楽しかったよ 1年生の時はひらがなばかりだったけど、今は漢字を書けるよ</p> <p>□全体交流の中で、「2の2ミュージアム」から得た気付きについての児童の発言から、一人一人の視点を視覚化し、内面の成長へと視点の広げる児童の姿を引き出す。</p> <p>心の中の成長など目に見えないことも「ものがたりのたね」に書いていいんだね</p> <p>町探検でもパワーアップしたよ 協力ハートがアップしたんだね 頑張る力がパワーアップしてきたよ</p> <p>もっと「ものがたりのたね」を集めたいね</p>	知技ア
4 (本時)	<p>○「ものがたりのたね」を集め、他者と伝え合う活動を通して、自分の成長を捉える方法を広げる。 □児童の思考が幼児期のことにも向かった段階で、乳児用の靴や洋服、入学前の写真等を提示し、より長い時間を通した成長を捉えられるようにする。</p>	<p>同じ探検でも遠くへ行って、詳しく調べられるようになったよ ちびっこみどりの学校で1年生に教えることができたよ 運動会で、1位じゃなくても泣かなくなったよ</p> <p>よく考えたり、発見したりする力がついたからだと思うな ルールを守ったり、安全に行動したりできるようになったからだね 体力がついたから、遠くまでいけるようになったよ</p> <p>□全体交流の中で、「2の2ミュージアム」から得た気付きについての児童の発言から、1つの行事についての複数の児童の考えを表出させ、視点を視覚化することで、1つの成長について様々な捉え方ができていることに気付く児童の姿を引き出す。</p> <p>みんなで考えたら、もっと見つかりそうだね。</p> <p>□児童から友達と交流するという視点が提示された段階で、「すごいねカード」「ありがとうカード」を提示することでお互いのよさについて伝え合うことができるようにする。</p> <p>○○くんはあまり思いつかないみたいだ。教えてあげられるよ！ 友達にカードをもらって気付いたことがあったよ。 友達にカードをもらってうれしかったよ。ぼくもあげたいな。</p> <p>友達と伝え合ってうれしかったね。もっといろんな人と伝え合いたいね！</p>	思イ 学イ
5	○「ものがたりのたね」を集める活動を通して		
6	<p>○集まってきた「ものがたりのたね」のきっかけとなった出来事や人々を考える。 □「ものがたりのたね」と自分との間に矢印をひかせることで、自分と人々や出来事のつながりを捉えられるようにする。</p>		知技イ
7	○集めた「ものがたりのたね」から伝えたい「金色のたね」を選び、「○○ものがたり」にまとめる内容を考える。		知技ウ
8~11	○集めた「ものがたりのたね」を基に、「○○ものがたり」を作成する。		思ウ
12	○できあがった「○○ものがたり」を交流し、お互いのよさを伝え合う活動を行う。		知技エ
13	○「○○ものがたり」にあとがきのページを付け足す。		学ウ

7 本時について (4/13 時間目)

(1) 本時の目標

自分の成長について振り返り、「ものがたりのたね」にまとめていく活動を通して、友達と伝え合うことで視点が広がることに気づき、次の活動の見通しをもつことができる。

(2) 本時の展開

<input type="checkbox"/> 教師の主な働きかけ・ 手立て ○ 子供の主な学習活動 子供の思考	【評価】 個に応じた指導 (▲)
<input type="checkbox"/> 前時の内容を写真等を提示し振り返りながら、本時の見通しをもつことができるようにする。 <input type="checkbox"/> 前時の活動を想起しながら、本時の活動の見通しをもつ。 ・まずは、「2の2ミュージアム」から「ものがたりのたね」を集めていたよ。 ・すてきなものがたりをつくるには、まだ足りなさそうだね。	
「ものがたりのたね」をもっとあつめよう！	
<input type="checkbox"/> 視点を明確にしたカードを複数提示し、児童の思いに応じて表現できるようにする。	
<input type="checkbox"/> 活動の様子を見取り、個別に「どうしてこんなに変わったのかな?」「違うのは見た目だけかな?」と声かけ、問い返しを行うことで、 気づきを引き出すことができるようにする。	【ワークシート】 【活動の見取り】
<input type="checkbox"/> 個人で自分の成長について、「ものがたりのたね」にまとめる。 ・ちびっこみどりの学校で教えてあげることができたよ。 ・マラソンで早く走れるようになったよ。 ・運動会で、1位じゃなくても泣かなくなったよ。 ・同じ探検でも、遠くへ行って詳しく調べられるようになったよ。	▲自分の成長を捉えることが難しい児童には、1年生のころの資料と2年生のころの資料の比較を促す。
<input type="checkbox"/> 全体交流の場を設定し、「2の2ミュージアム」から得た気づきについての児童の発言から、1つの行事について、複数の児童の考えを表出させ、 視覚化 することで、1つの成長について様々な捉え方ができることに 気付く児童の姿を引き出す。～★	【発言】
<input type="checkbox"/> 全体で、「ものがたりのたね」を交流する。 ・探検で遠くまで行けるようになったよ。 ・体力がついたから、遠くまで行けるようになったよね。 ・ルールを守ったり、安全に行動したりできるようになったからだと思うよ。 ・よく考えたり発見したりする力がついたから、町探検にも行けるようになったよ。	
<input type="checkbox"/> 視点の広がりについた段階で、 視点が広がった理由を問う ことで、友達と交流する必要感を引き出し、 次の活動の見通しをもたせる。～★	▲活動に不安をもっている児童がいる場合は、お互いに伝え合うことのよさに気付かせる。
<input type="checkbox"/> 全体交流の中で、より多くの「ものがたりのたね」を集める方法を考える。 ・○○くんは心の中のことも考えていた。 ・△△ちゃんの考えは、ぼくの「たね」にも繋がるな。 ・みんなで協力したら、「たね」をもっと集められそうだね。	
<input type="checkbox"/> 児童から友達と交流するという視点が出された段階で、「すごいねカード」「ありがとうカード」を提示することで お互いのよさについて伝え合うことができるようにする。	【活動の見取り】
<input type="checkbox"/> 改めて資料を見たり、友達と交流したりしながら、「ものがたりのたね」を集める。 ・○○くんは、リーダーとしていろいろ考えてくれるからすごいよね。 ・△△ちゃんが、子ども広場のときに「いいね」って言ってくれて頑張れたよ、ありがとう。 ・ぼくは、目標に向かって頑張れるようになったよ。だから、運動会でも力を出せたんだ。	
<input type="checkbox"/> 「すごいねカード」や「ありがとうカード」を送りあっている児童の活動を見取り、価値付ける。	
<input type="checkbox"/> 全体交流の場を設定し、 活動の状態を問う ことで 次時へ見通しをもつことができるようにする。	
<input type="checkbox"/> 全体で、「ものがたりのたね」のまとめ方を交流する。 ・「ものがたりのたね」がすごく増えてきたよ。 ・ともだちに「すごいねカード」をもらってうれしかったよ。 ・ぼくはまだ「すごいねカード」をもらっていないな。 ・次もお互いにカードを渡しあいたいな。 ・おうちの人にもカードを書いてもらいたいよ。	
<input type="checkbox"/> 振り返りカードに記入する場面を設定し、交流で明らかになった視点を生かして 次時見通しをもつことができるように声をかける。	【ワークシート】
<input type="checkbox"/> 今回の活動を振り返り、次時見通しをもつ。 ・次は、こんなことをまとめたいな。 ・次の時間までに、こんな情報を集めてこよう。	